

西成特区構想エリアマネジメント協議会第21回「地域活性化交流・観光専門部会」議事要旨

1 日時 令和7年2月18日（火）19時から20時20分

2 場所 西成区役所 4階 4－5会議室

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授	松村 嘉久
関西学院大学教授	白波瀬 達也
近畿大学准教授	寺川 政司

（大阪市）

石田 西成区役所総合企画課長 ほか

（地域メンバー）

ありむら 釜ヶ崎のまち再生フォーラム渉外担当
山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合副理事長

4 議題

- （1）新今宮エリアブランディングの取り組みについて
- （2）魅力発信の取り組みについて

5 議事要旨

次の項目について今年度の取組内容を事務局より報告し、ご意見を頂戴した。

（1）新今宮エリアブランディングの取り組みについて

（新今宮スタディーツアー、新今宮ワンダーランド2024について）

（ご意見）

- ・ ツアー参加者は昨年度と比べて倍増している。参加者は学生のほか、外国人旅行者にツアーガイドしている方が参加している。何度も日本に来ている外国人旅行者は日本を深く知りたいと考えている。セーフティーネットの役割を果たしているこの街を知ることによって感銘を受けている。新今宮ワンダーランドのホームページを利用して情報発信の方法を考えていきたい。
- ・ 新今宮ワンダーランドのホームページをプラットフォームにして、新今宮周辺のみでなく、西成区全体の情報を広く載せても良いのではないかな。
- ・ てんのじ村エリアの長屋を再生しようと活動されている方がいる。再生されればツアーに取り込めたらと考えている。
- ・ 古い長屋は躯体を補修する必要があるが費用がかかるので維持するのが難しい。
- ・ ツアーのリピーターを確保するのが課題。4～6月からオーエス劇場をコースに取り入れる。そのほか、西成らしい食べ物を絡めていくことが大切だと考える。
- ・ 例えばツアーを4回完結にするとリピーターが増えると思う。
- ・ ツアーに参加された方に西成区の別のイベントを紹介することも考えてはどうか。
- ・ 区内の子供たちが西成区全体、特に新今宮界限を知り、西成は魅力ある街だと知っ

てもらいたい。子供に情報発信する戦略が必要。

- ・西成、住吉、住之江区の新任教員がオンラインスタディーツアーに参加している。また、実際のツアーにも参加している。教員側の了解が得られれば、ツアーの様子を情報発信していくことも考えられる。
- ・発信側が見せたいものを見せるのではなく、受信側が見たいものを発信することが大切。
- ・淀壁と西成ウォールアートが情報発信で連携すると面白いと思う。

(2) 魅力発信の取組みについて

(現代芸術振興事業、西成情報アーカイブ、西成しごと博物館、大阪フィルハーモニー交響楽団との連携)

(ご意見)

- ・西成発の企業と100周年で連携するなど何か実施してみてはどうか。

6 会議資料

- ・新今宮エリアブランディングの取組みについて
- ・魅力発信の取組みについて